

第4学年 社会科学学習指導案

場所 4年2組教室

授業者 ○ ○ ○ ○

1 単元名 「事故や事件からくらしを守る」

2 単元について

- (4) 地域社会における災害及び事故の防止について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。
- ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。
- イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること。

本単元では、地域社会における事故の防止について取り上げる。子ども達は日々の生活の中に危険が潜んでいることは知っている。そこで、私たちが日頃から安心・安全に生活するために、誰がどんな工夫や努力をしているのかを、本単元で学習していく。

私たちが安心して暮らせるのは、警察署が中心となって役場や会社、店舗、地域の自治会や学校などが連携して、交通安全運動や防犯活動などをして地域の安全を守っているからである。また、事故や事件が発生したときには、警察署が中心となり関係諸機関と相互に連携して緊急に対処する体制をとり、早急に対処するようになっている。

まず、養基駐在所の見学を通して、地域の安全を守ることの大切さや警察が行っている安全を守るための工夫・努力について学ぶ。その後、前単元の「火事からくらしを守る」の学習と同じように、地域の人々が協力して「安心・安全な町に」という願いのもと、様々な活動をしていることに理解できるようにする。更に、自治会や見守り隊、PTA、子ども110番の家など、多くの人々から自分のかけがえのない命が守られていることに気付くようにする。そして子ども達が、安全を守るためにはルールを守ることが大切であることや、地域の安全を守るために自分は何ができるかについて考えるようにしたい。

3 児童の実態

子ども達は、警察官が交通事故や事件を処理したり、何か危険なことが起きた時には110番通報をしたりすることを知っている。また、前単元「火事からくらしを守る」の学習から、火事が起きた時には、消防士だけでなく地域の方が連携してすばやく消火活動をするところを見学を通して学んできた。しかし、事故が起きたら誰がどのようにして現場に駆け付けられるのか、警察にはどのような仕事があるのかを知らない。また、地域の方が協力して私たちの安全を見守っている理由を、児童ははっきりと理解していない。そこで、本単元では、「事故や事件からわたしたちの安全を守るために、だれがどのような活動をしているのだろう。」を課題とし、見学や調査をしたり、資料から見つけたりすることを通して、地域の安全を地域みんなで協力して守ることの大切さについて

つくりと考えるようにしたい。

4 研究にかかわって

自ら考え仲間と学び合う子の育成
～よりよい社会の実現をめざす子が育つ
社会科学学習～

研究内容1 教材化の在り方と単元構成の工夫 社会認識を深める教材化の在り方

児童は2年生の町探検で、養基駐在所に出かけたことがある。しかし、警察官の仕事や、警察署や関係機関が地域と連携して安全を守っていること、そのために様々な工夫や努力がなされていることを知らない。そこで、子ども達自身による見学や調査を大切に単元構成にし、地域みんなで連携して安全を守る活動していることに気付くようにする。

研究内容2 学習活動の工夫

強い課題意識をもたせるための事象提示の工夫

最初に、郵便局長のYさんが、休みの日に環境部会の活動をされていることを知る。警察官の力だけではなく、地域の人々も積極的に安全を守る活動を行っている事実から、私たちの住んでいる養基に住民として地域を大切に思う人がたくさんいると実感し、意欲的に学習を進めていけるようにする。

社会認識を深めるための交流の工夫

(事実認識・意味認識の在り方)

自分の考えたもとなる資料をはっきりとさせるために、ネームプレートで立場を明確にする。また、4年生の1学期という段階から、資料の読み取り方が定着するように、発表の時にどの資料のどの部分から考えたのか、教師が問い返すことによって明確にする。全体交流の時には資料の前に立ち、根拠を明確にする。また、2つの資料をつないで考えることができた児童を価値付けていく。

単位時間の終末(生かす)の工夫

(共感する、見方・考え方を高める、一般化する、生き方を見つめる)

深めの発問でYさんの話を直接聞くことにより、地域の子どもの安全のために尽くしてくれている人がいることに気付く。そこで、地域の中で守られている自分のままで終わらず、自分の命・安全は自分で守ることが大切であることを考えるようにする。そして、自分の普段の生活を振り返り、自分達にできることを考え、次時へつなげるようにする。

研究内容3 評価と指導・援助

一人一人の学習状況に応じた指導・援助の明確化

個人追究の手助けとなるように、前単元の消防団の活動や、前時までの学習(警察、学校、地域が連携していること)については、いつでも活用できるように側面に掲示しておく。

個に応じた指導・援助として、根拠が示せない児童には「どこからそう考えたの。」と投げかける。課題とつなげて考えられない児童には、課題に立ち返るように声をかけて授業を進めていく。

児童が自らの成長に気付く自己評価と見届けの工夫

キーワードは板書に赤で示し、キーワードを使ってまとめを書くように指導する。キーワード「工夫・努力」「地域の協力」「子どもの安全」を入れてまとめられるようにする。

5 本時のねらい

脛永区環境部会や脛永区交通安全宣言の資料を読み取る活動を通して、郵便局長のYさんが土日を中心に環境部会の活動をしているのは、地域の子どもの安全を願っているからだと考え、表現することができる。

6 本時の展開（ 6時 / 全9時間）

	学 習 活 動	指導・援助（＊資料）
課題をつかむ	1 郵便局長のYさんが中心になって、土日に環境部会の会議をしたり子ども110番の家を回っていたりしたことを知る。 - 郵便局の仕事をしているのに、何の会議を開いているのかな。 - どうして子ども110番の家を回ったのかな。 2 本時の課題を確認する Yさんは郵便局長なのに、なぜ休みの日に環境部会の活動をしているのだろう。	＊Yさんの写真 ＊脛永区地域交通安全宣言 ＊養基小学校交通安全宣言 ＊Yさんのスケジュール ＊脛永区青少年育成区民会議環境部会の写真と議題 ＊脛永地区の安全マップ ＊子ども110番の家マップ ＊消防団のTさん
	3 予想を交流し、課題解決の見通しをもつ。 - Yさんは、脛永の人に、安全に生活してほしいと思っている。 - 消防団の人と同じように地域の安全を守りたいと思っている。 4 資料を使って調べ、考える。 5 課題について考えたことを、仲間と交流する。 資料 環境部会の写真と議題 資料 脛永区地域交通安全宣言 ・教頭先生やPTAの人、区長さんなどが会議に参加している。 → Yさん中心に、多くの人が安全について話し合っている。 ・Yさんは環境部会の部長をしている。 → 消防団の人と同じように、郵便局の仕事とは別に役割があって、安全について考えてくれている。 ・議題の中に、子ども110番の家のことがある。 → 私たちが不審者に遭った時に確実に逃げられるようにしてくれている。 地域の協力 安全を守る工夫・努力 ・「地域でも子供を見守る」と書いてある。 → 養基小の子どもを守るために活動している。 ・「脛永の子どもたちを地域で守っていきましょう。」 → 子どもたちを守りたい。 ・危険箇所が写真で示してある。 → 地域の人たちにとって危険箇所を分かりやすくしてあるので、安全に気を付けられる。 ・「安全宣言を守っていないときはきちっと注意」とある。 → 子どもの安全を見守りたい。 子どもの安全	・既習事項である消防団の学習について側面に掲示し、振り返ることができるようにしておく。 ・前時の安全な町づくりの学習を活用しながら考えづくりができるようにする。 ・脛永青少年育成区民会議環境部会について、児童が理解できるように資料提示をする。 ・ネームプレートで自分の考えている立場を明確にし、資料ごとに話し合いができるようにする。
調べる		評価規準 Yさんが子どもの安全を願って工夫や努力をし、地域の人々と協力して子どもの安全のために活動していることを考え、表現している。 （思考・判断・表現） <ノート・発言>
深める	6 Yさんの話を聞く。 私は青少年育成区民会議の環境部会の部長をしています。脛永地区の子どもの安全を守るため、安全マップをつくって危険な場所を確認したり、子ども110番の家を30件全て回ってお願いしたり、脛永区地域交通安全宣言を回覧板で広めたりしました。仕事をしながらやることなので大変ですが、地域の子どもの命を守るために、呼びかけを積極的に行っていきます。	・Yさんに直接お話を聞くことで、Yさんの子どもの安全を願う思いを知り、自分たちも安全に気を付けて行動しようという気持ちをもつようにする。
まとめる	7 学習のまとめをする。 郵便局長のYさんが休みの日に環境部会の活動をしているのは、地域の子ども達の安全を守りたいという願いがあるからだ。そのために、安全を守る工夫や努力をして、地域みんなで協力して私たちの安全を見守ってくださる。私も、交通安全に気を付けて生活するように意識していきたい。	・キーワード「地域の協力、安全を守る工夫・努力、子どもの安全」を入れてまとめられるように指導する。
生かす	8 生かす。 安全を守るために、自分たちができることはどんなことだろう。 ・分団の登下校の時、班長の言うことを聞いてまっすぐ並ぶようにしたい。	・地域に私たちの安全を見守ってくださる方がYさんの他にもたくさんいる

	・危険な場所を養基小のみんなに知らせて，安全に気を付けてもらいたい。	ことを確認し，自分の生活を振り返ることができるようにする。
--	---	--------------------------------------

7 単元構成表

	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	知識・理解
単元 の 目 標	地域社会における事故や事件から人々の安全を守る工夫や努力に関心をもち、見学や調査活動を通して安全を守る体制や施設、訓練、点検の様子について意欲的に調べ、地域社会の一員として人々の安全を守るための活動に協力しようとしている。	地域社会における事故や事件から人々の安全を守る工夫や努力について、学習問題や予想、学習計画を考え表現している。安全を守るための関係機関の働きや地域の人々の工夫や努力によって地域の人々の安全な生活が守られていることを考えたり、安全を守るために自分にできることを判断したりして、それらを適切に表現することができる。	駐在所や地域の人々の協力の様子を観点に基づいて調査、見学したり、資料を活用したりして、地域社会における事故や事件の防止のための諸活動について必要な情報を集めて読み取ったりまとめることができる。	警察署などの関係機関は、地域の人々と協力して火災の防止に努めていること、関係の諸機関が相互に連携して緊急に対処する体制をとっていること、事故や事件から人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を理解することができる。
評価 規 準	- 自分たちの身のまわりにも危ない場所があることに関心をもち、危ない場所についての原因を意欲的に考えようとしている。 - 人々が安心してくらすための工夫・努力に目を向け、進んで見学の計画を立てようとしている。 - 地域の安全は自分達で守らなければならないという意識をもち、安全マップを活用して、安全なまちづくりに地域の一員として参画しようとしている。	- 警察官が地域の安全なくらしを守るために、様々な工夫や努力をしていることを考え、表現している。 - Yさんが子どもの安全を願って工夫や努力をし、地域の人々と協力して子どもの安全のために活動していることを考え、表現している。 - 地域の安全を守る人々の取組を、適切に表にまとめている。 - 地域の危ない所に目を向けて調べたことを、安全マップの中に文章などで適切に表現している。	- 揖斐郡の事件発生件数のグラフから、事故が減っているという事実を適切に読み取っている。 - 養基駐在所の施設や働く人について、視点をもとに聞き取り調査をして、必要な情報を集めている。	- 警察の仕事について、見学したりインタビューしたりして調べ、警察の仕事がわたしたちの安全な生活を守るためにあるということを理解している。 - 警察、学校、地域などが連携して、事故や事件を防ぐための仕組みづくりがなされていることを理解している。

< 単元前の児童の意識 >

消防署は、火事から地域みんなの命や財産を守ってくれている。また、消防団など地域の人々も協力して消火活動をしている。火事がないときには消防署や地域の人々が協力して見守ったり呼びかけたりして、火事から人々のくらしを守っている。自分たちも防火に気を付けて生活しよう。交通事故も怖い。普段登下校の時には、家の人や見守り隊の方が私たちの安全を守ってくれている。それ以外の時には、誰がどのように安全を守ってくれているのだろう。警察署や派出所の人は、事件や事故がないときは、どうしているのだろう。

考えさせたい内容	調べさせたい事実	押さえない用語・語句
早く事故や事件に対処したり、事故や事件が起きないようにしたりするために、警察署で働く人々は、たくさんの工夫や努力をしている。 警察署など関係機関は、人々の安全を守るため、地域の人々と連携を取り、活動をしている。 地域の人々は、安全なまちにするために工夫や努力をしている。 わたしたちのくらしの安全を守るために、自分にできることをする。 地域社会の一員として、自分の安全は自分で守り、安全を呼びかけることが大切である。	地域には、事故や事件の起こりそうなところがたくさんある。 事故は、警察や消防など様々な人々の協力によって処理されている。 警察官は、私たちの安全を守るために、地域社会の中でパトロール、道案内、交通違反の取り締まりなど様々な活動をしている。 子どもの安全は、関係諸機関と地域の人々の協力によって守られている。 環境部会のYさんは、安全なまちづくりのために、地域と協力して様々な工夫や努力をしている。 たくさんの地域の安全を守る人に支えられて、安心・安全なまちづくりが成り立っている。 安全マップをつくって、地域の危ない所をみんなに伝えることは、地域の安全を守ることにつながる。	事故・事件 通報・110番・通信指令室 警察官・駐在所・交番・法やきまり 見守り隊・こども110番・役場 環境部会・交通安全宣言 安全なまちづくり 安全マップ

< 単元後の児童の意識 >

地域の人々を事故や事件から守るため、警察署や駐在所、地域の人々は、パトロールや呼びかけをして、防犯や事故防止のために努力している。また、駐在所は、早く事故や事件に対処するための工夫がたくさんある。警察署と関係機関、地域が協力して、私達の地域の安全を守ってくれる。私達もきまりやルールを守るとともに、自分でできることをして、地域の安全を守る活動に協力したい。

8 単元指導計画

過程	時	ねらい	学 習 活 動	指導・援助 * 資料 評価規準
つかむ	1	身近な地域の危険な場所のイラストや揖斐郡の事故件数のグラフを読み取る活動を通して、安全を守るために誰が活動しているか考え、学習問題を作る。	- 身近な地域で危険な場所を話し合う。 - 自動車がよく通る道を渡るよ。 - 見通しが悪い交差点があるよ。 - 課題をつくる。 事故や事件は、どのようなところで起こりやすいのだろう。 - なぜ危険なのか、資料をもとに危険が潜む原因について考え、話し合う。 - 信号も標識もないので、車が止まらない。 - 人通りが少ないから、不審者がよく出る場所だと思う。 - 公園の近くで、子どもが飛び出してくる。 - 工事現場があって、危険だ。 - 揖斐郡の事故件数のグラフを見て、意見を出し合う。 27年度の人身事故の死亡者は0人で、件数も減っている - 話し合いをもとに学習問題をつくり、その予想と学習計画を話し合う。 - 誰が私たちの安全を守っていてくれるのかな。 単元を貫く課題 事故や事件からわたしたちの安全を守るために、だれがどのような活動をしているのだろう。	* 身近な地域の危険な場所のイラスト * 揖斐郡の事故件数のグラフ 自分たちの身のまわりにも危険な場所があることに関心をもち、危険な場所の原因について意欲的に考えようとしている。 (関心・意欲・態度) 揖斐郡の事件の発生件数のグラフから、事故が減っているという事実を適切に読み取っている。 (観察・資料活用の技能)
調べる	2	警察署の人がどんな仕事をしているのか予想し、養基駐在所見学の視点をつくったり、見学の計画を立てたりすることができる。	- 交通事故現場で働く人たちの写真を見て、働いている人たちの様子について話し合う。 - いろいろな制服を着た人たちがいる。 - 警察官以外の人たちも働いている。 - 消防車や救急車も停まっている。 - 課題をつくる。 事故や事件のとき、警察官はどのような仕事をしているのだろう。 - 予想を立てる。 - 事故の原因を調査して調べる。 - 事件を調査する。 - 事故の時、交通整理をする。 - 見学で見たいこと、聞きたいことを交流して、見学の視点をつくる。 - 町の安全を守るために、どんな仕事をしているのか。 - 事故や事件の時、どのようにして連絡が入り、どのように現場に駆け付けるのか。 - 事故や事件を未然に防ぐために、どんな工夫や努力をしているか。	* 交通事故現場で働く人たちの写真 人々が安心してくらすための工夫・努力に目を向け、進んで見学の計画を立てようとしている。 (関心・意欲・態度)

調べる	3	警察の仕事について、見学したりインタビューしたりする活動を通して、警察が安全を守るために様々な仕事をしていることを調べることができる。	1 見学の視点を確認する。 養基駐在所を見学して、安全なくらしを守るためにどんな工夫や努力をしているのか見つけよう。 2 見学をする。 3 警察官のお話を聞いて、見学メモに書きこむ。 4 質問をして、自分の課題が解決できるようにする。 5 見学メモを整理する。	* 見学メモ 養基駐在所の施設や働く人について、視点をもとに見学、聞き取り調査をして、必要な情報を集めている。(技能) 警察の仕事について、見学したりインタビューしたりして調べ、警察の仕事がわたしたちの安全な生活を守るためにあるということを理解している。 (知識・理解)
	4	交通安全教室や交通整理、パトロールの資料を読み取ることを通して、警察官は地域の安全を守るために様々な工夫や努力をしていることについて考え、表現できる。	1 警察官の仕事を確認する。 警察官は、地域の安全なくらしを守るために、どんな工夫や努力をしているのだろう。 2 予想を立てる。 3 資料から個人で追究する。 4 仲間と意見を交流する。 - 交通安全教室では、私たちに直接安全について教えてくれている。 - 事故の時には、交通整理をして、他の車に迷惑がかからないようにしている。 - パトロールをして、地域の安全を守っている。 5 まとめる。 警察官は、交通安全教室や交通整理、パトロールなどをして、私たちの安全を守ってくれている。 6 生かす	* 見学メモ * お巡りさんの話 * 交通安全教室の写真 * 交通整理をしている様子 * パトロールの写真 警察官が地域の安全なくらしを守るために様々な工夫や努力をしていることを考え、表現している。 (思考・判断・表現)
深める	5	見守り隊の方やこども 110 番の家などの資料を読み取る活動を通して、地域の人々が、私たちの安全を守るためにいろいろな活動をしていることに気づき、養基の町の安全を守る仕組みについて考え、表現することができる。	1 見守り隊の方の写真を見る。 - いつも通学路に立っていてくださる。 - やさしく声をかけてくださるよ。 地域の人たちは、私たちの安全を守るためにどのような活動をしているのだろう。 2 予想を立てる。 - 見守り隊の方は登下校の時にいつも私たちの安全を守ってくれている。 - こども 110 番の家が通学路にあるよ。 3 資料から個人で追究する。 4 仲間と意見を交流する。 - スクールガードリーダーの石井さんに安全に関することをよく教えてもらっている。 - 通学路にこども 110 番の家があって、不審者が出た場合に逃げられるようになっている。 - 役場でも私たちの安全を守ってくれている。 - 脛永に環境部会があって、安全を守る活動をしている。 5 まとめる。 学校と役場、店など、警察だけでなくいろいろな人が協力して私たちの安全を守ってくれている。	* 見守り隊の方の写真 * 子ども 110 番の家の写真と地図 * スクールガードリーダーの石井さんの写真と話 * 役場の森さんの話 警察、学校、地域などが連携して、事件や事故を防ぐための仕組みづくりがされていることを理解している。 (知識・理解)

	6 本時	脛永区環境部会や脛永区交通安全宣言の資料を読み取る活動を通して、郵便局長のYさんが土日を中心に環境部会の活動をしているのは、地域の子どもの安全を願っているからだと考え表現している。	1 郵便局長のYさんが中心となって、土日に環境部会の会議をしたり、こども 110 番の家を回っていたりしたことを知る。 2 本時の課題を確認する。 Yさんは郵便局長なのに、なぜ休みの日に環境部会の活動をしているのだろう。 2 予想を立てる。 3 資料から個人で追究する。 4 仲間と意見を交流する。 5 矢野さんの話を聞く。 6 まとめる。 郵便局長のYさんが、休みの日に環境部会の活動をしているのは、地域の子どもの安全を守りたいという願いがあるからだ。 7 生かす。 ・安全を守るために、自分たちができることはどんなことだろう。	* Yさんの写真 * 脛永区交通安全宣言 * 養基小学校交通安全宣言 * Yさんのスケジュール * 環境部会の写真と議題 * 脛永地区の安全マップ * こども 110 番の家マップ * 消防団のTさん Yさんが子どもの安全を願って工夫や努力をし、地域の人々と協力して子どもの安全のために活動していることを考え、表現している。 (思考・判断・表現)
まとめる	7	事故や事件から私たちのくらしの安全を守る人の活動を表にまとめることができる。	1 これまでの学習を振り返る。 ・警察官や地域など、まちの安全を守る人がたくさんいた。 2 本時の課題を確認する。 事故や事件から私たちのくらしの安全を守る人の活動を、表にまとめよう。 3 安全を守っている人について思い出し、表にまとめる。 4 安全を守る人について、発表し合う。 5 安全な町づくりを進めるために自分にできることを考える。 6 まとめる。 地域にはたくさんの安全を守る人がいる。自分も交通ルールを守り、安全に行動したい。	* 安全を守る人についての表 地域の安全を守る人々の取組を、適切に表にまとめている。 (思考・判断・表現)
	8 9	学習したことをもとに安全マップにまとめ、今の自分たちにできることを考える。	1 自分の通学路の危ない場所について思い出す。 2 本時の課題を確認する。 安全マップをつくり、安全なまちづくりのために私たちにできることを考えよう。 3 地域ごとにグループをつくり、地域の危ない場所について話し合う。 4 事故・事件が起こりそうな場所を、安全マップに書きこむ。 5 事故・事件に気を付けることを、グループごとに発表する。	* 通学路の地図 * 危険な場所の写真 地域安全は自分達で守らなければならないという意識を持ち、安全マップを活用して、安全なまちづくりに地域の一員として参画しようとしている。(関心・意欲・態度) 地域の危ない所に目を向けて調べたことを、安全マップの中に文章などで適切に表現している。 (思考・判断・表現)